

# おきなわ市日誌



## 3/24 ちよつとの時間で人助け

「できるときに、できることを」をコンセプトにボランティアを行う「社協ちよぼらサークル『ぼら♪ぼら♪』」が作成したおそうじタオルの贈呈式が、沖縄市社会福祉協議会で行われました。

おそうじタオルは、NPO法人沖縄市母子寡婦福祉会へ贈られ、母子・父子家庭のこどもたちの新学期準備に活用されます。



## 3/25 愛する母校への恩返し

美東中27期同期会実行委員会の役員等が美東中学校を訪れ、美東中学校・美東小学校・高原小学校への寄付金の贈呈式を行いました。

寄付金は、還暦祝いの余剰金を充てたもので、教育支援に貢献したいとの思いを込め贈られました。比嘉毅実行委員長は「頑張っているこどもたちのために大切に使ってほしい」と思いを伝えました。



## 3/26 心に届く澄んだ歌声

沖縄市ジュニア合唱団の第11回定期演奏会が、沖縄市民小劇場あしびなーで開催されました。

第一部では、「パプリカ」等の合唱、第二部では、ゲストの橋本京佳さんによるヴァイオリン演奏と古堅梨々夏さんによるホルンの演奏、第三部では、児童・生徒の独唱と、会場中に響き渡った美しい歌声や楽器の音色に、観客席から拍手が溢れました。



## 3/27 オオゴマダラのように羽ばたいてね

45年の歴史に幕を下ろした南桃原保育所の閉所式が行われ、園児の合唱、職員から園児に贈る歌等が披露され、温かい涙と笑顔が溢れました。

式の最後には、オオゴマダラの放ちョウが行われ、砂場で一列に並んだ園児が、一斉にオオゴマダラを放ちました。美しく舞い上がるチョウに、園児たちは嬉しそうに手を振り続けていました。



## 3/24 継ぐ市の宝 知花花織

令和元年度知花花織後継者育成事業研修成果展が、3月24日から27日までの4日間、市役所で開催されました。

会場には、研修生6人(池原智美さん、梅田二三代さん、津嘉山美由紀さん、當山真里さん、宮城愛子さん、山口十七美さん)が、約10か月かけて織り上げた美しい知花花織が展示されました。



## 3/12 世界で学ぶ男女共同参画

沖縄県女性海外セミナー「女性の翼」で9月に台湾へ派遣された島袋和氏と歴代の派遣員等が市役所を訪れ、桑江市長等に研修報告を行いました。

初の女性総督が誕生するなど女性の社会進出が著しい台湾で、男女共同参画の取組等を学んだ島袋氏は「台湾では、男女共同参画の考えが根付いており、女性の活躍が目覚ましい」と報告しました。



**4/1 防災力向上のため決意新たに**

沖縄市消防団長任命辞令交付式が市役所で行われ、消防団員等が見守る中、桑江市長より久高清美氏に辞令が手渡されました。

久高氏は、平成28年4月に県内初の女性消防団長となり、4年間の任期満了に伴い再任命されました。

久高氏は「更なる住民の防災力向上を目指し、4年間尽力します」と決意を語りました。



**4/1 国勢調査沖縄市実施本部を設置**

令和2年国勢調査沖縄市実施本部を市役所5階に設置し、その看板掲揚式を行いました。

実施本部長の仲本副市長は「個人情報保護意識の高まりなど調査環境が厳しさを増す中、国勢調査の実施に市民の理解と協力を得られるよう全庁的に取り組む」とあいさつしました。

～国勢調査「調査員」募集中です（詳細は19頁へ）～

**2/5 14人目のちゃんぷる～沖縄市大使**

タレントや歌手として活躍する「りゅうちえる」さんが、沖縄市の魅力を広く発信し、市の更なるイメージアップを図る「ちゃんぷる～沖縄市大使」に就任しました。

りゅうちえるさんは「生まれてきた中で一番嬉しい肩書です。沖縄市の良さをアピールできるよう、精一杯頑張ります」と笑顔で話しました。



**3/26 農地利用促進を担う農業委員へ辞令**

任期満了に伴い新たに任命された14名の農業委員への辞令交付式が市役所で行われました。

農業委員を代表してあいさつをした又吉彩子さんは「沖縄市の農業のために、これから頑張っていきたい」と抱負を述べました。

農業委員は、農地の集積集約化や遊休農地の活用促進などに関する活動をおこないます。

市民健康課より  
**健康づくり  
ノート**



「こころの病気と上手に付き合うために」

**「こころの病気」について理解を深めよう!**

「こころの病気」は、誰でもかかる可能性がある病気です。国内では、約419万人の人が通院・入院していると言われており、日本人の約33人に1人(平成29年)、沖縄県では約34人に1人(平成30年)がこころの病気を抱えています。しかし、多くは治療をすることで回復します。不安に囚われてしまわないように、「こころの病気」について理解を深めていくことが大切です。

こころの不調やストレス症状が長く続いたり、日常生活に支障が出ている場合は、早めに専門機関に相談することをお勧めします。こころの不調は、自分ではわかりにくく、「このくらいで相談なんて…」と感じてしまうこともあると思いますが

- 以前より食事がおいしく感じない
- なかなか寝付けない、熟睡できない
- 人に会いたくない
- 何事にも興味がわかない、楽しめない

ことも「一つのストレス」であり、症状です。

無理をして複数のストレスを抱え込む前に専門医に相談してみましょう。

市民健康課 (内線2241)



## 4/7 新しい学びの場が完成! 美東小学校

老朽化により建て替えが行われていた美東小学校新校舎が今年3月に完成しました。

新校舎は市内最大規模の保有面積で30教室を配置し、引き戸によりオープン又はクローズの教室として使い分けが可能。屋上には空調設備の電気料金をまかなえる257kWの太陽光パネルを配置し、また限られた敷地の中でも彩光や通風の確保のための工夫で2カ所の中庭が設けられています。

徳村恵子校長は、「新しい設備が整っていて、安心安全に子ども達の学習展開を充実できる」と新校舎での学校運営に期待を寄せています。



## 4/7 エイ坊たちがお出迎え! 安慶田幼稚園

昨年12月に新園舎が完成した安慶田幼稚園。小学校と隣接する新園舎は今年5月から使用されており、5歳児教室2室、2歳児教室1室、預かり保育室2室を備えています。また、園児が元気よく活動できるよう、半屋外空間の広いテラスと園庭(旧園庭の1.4倍)も整備されています。園舎の2階はプールと合築され、外壁に描かれたエイ坊、サーちゃん、キューナが子ども達を出迎えます。

大濱薫園長は、「新園舎は小学校と近くなり、幼少連携が取りやすい。安心安全に子ども達をのびのびと教育できる」と新園舎での幼児教育を喜んでいます。

新しいプールは、今シーズンからの活用が予定されています。



## 4/1 市役所に新たな風、新たな力

令和2年度の市役所新採用職員研修を4月1日から6日まで実施しました。

研修では、本市の歴史や文化、地方公民制度、地方自治制度等のほか、昨年度入庁した職員から仕事に対する心構え等について学びました。

1日に行われた辞令交付式で、桑江市長は「社会全体の奉仕者として、市民のお手本となるようがんばってほしい」と激励の言葉を贈りました。

身近で  
わいわい

**今月の  
あちまい処**

市内各地の仲間と  
集まって楽しく  
活動している場所を  
ご紹介します。

今月は、「照屋ゆんたくサロン」をご紹介します。  
現在、男性4人、女性8人のメンバーで活動中。まず、三線の稽古から始まります。目で工工四を追い、両手を使って演奏し、大きな声で歌います。脳と身体を同時に刺激するので認知機能の低下を防ぎます。コーヒープレイクの後にはちゃーがんじゅう体操。参加者からは「初めは弾けなかったけど、今は皆と弾けて楽しい!」との声も。  
初心者大歓迎です。一緒に三線に挑戦してみませんか?



活動日：毎週月曜日13時~15時  
参加費：月500円  
場所：照屋1-17-5  
お問い合わせ：介護保険課(内線3143)